

風の記憶



甲斐市立玉幡中学校
学校だより第11号
令和8年1月 9日
発行 橋川 和之

新しい年を迎えて…

3学期が始まりました！

新しい年が明けました。保護者の皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。旧年中は、本校の教育活動に対しまして、ご理解とご支援をいただきましたことに心よりお礼申し上げます。本年も、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

この時期らしい寒さとなった1月8日（木）、玉幡中の3学期が始まりました。ジェットヒーターをフル稼働させても、体育館の中はなかなか暖まりませんでしたが、ピンと張り詰めた冬の空気は、3学期のスタートにふさわしいと感じました。3学期は1年の締めくくりの学期であり、高校入試や卒業式などの大きな行事が待っています。1月は「往（い）く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」と言われるこの3か月です。授業日数を数えてみると1、2年生は51日、卒業していく3年生は、たったの42日しかありません。短い期間ではありますが、1日1日を大事にして、卒業や進級に備えて「蓄えのとき」にしてほしいと思います。

始業式では、学年代表と生徒会代表の4名の生徒が3学期の抱負を述べました。

1年生代表「日々の積み重ねを大切に先輩となる準備をしながら、最高の集団を目指す」

2年生代表「信頼される最高学年、最高のチームとなるよう、一つになる力を高める」

3年生代表「最後まで諦めず、入試に取り組むとともに、仲間との時間を大切に過ごす」

生徒会代表「トライアングルのもと、全員で協力して、より良い学校をつくっていく」

このように、4人とも、自分たちのするべきことがよくわかっていて、しっかりと決意が感じられる発表をしてくれました。始業式で、生徒たちに向けて、このような話をしました。「今さら」、「今から」、「今なら」、「今」という字の後が1文字違うだけで、大きな違いになる。「今さら」、たった50日程度しかないなら、もう今さらと諦めるのか、「今から」、まだ51日あるぞと捉えて、「さあ、今から」と決断して、希望、期待につなげて頑張るのか。さらに、「今なら」と決意して勇気をもって一步踏み出して行動するのか、きっと、42日、51日後に大きな違いとなってあらわれてくる。

とても大切な3学期。

1人1人が「今から」

「今なら」の気持ちをもって、頑張ってほしいと思います。



「玉幡中ホームページへ」 →
<https://www.city-kai.ed.jp/rtchu/>

